

中村下会館の跡地利用について

■公共施設等の現状と公共施設等総合管理計画

本町では、築30年を経過した建築物系公共施設は、全体の77%を占め、多数の施設で老朽化対策が大きな課題となっています。また、人口減少に伴う税収の減少や社会保障関係経費の増加にも対応していく必要もあり、厳しい財政状況になることも予想されています。

こうした状況への対応を行うため、「中井町公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設の最適化を図り、財政負担の軽減・平準化を進め、持続可能なまちづくりを進めています。

令和5年3月の計画改定では、計画期間内での建築物系公共施設の更新等費用見込み額（4.8億/年）について、維持管理・更新等費用見込みに見合った総量の試算（過年度実績3.7億/年）に相当する約22%を縮減目標としました。

長寿命化対策や修繕・更新等の計画的な保全を行うことで縮減目標を達成するとともに、集約化・複合化や民間活用等、多様な手法により、そのサービス機能を維持・向上できるように工夫しつつ、中長期的に費用の縮減や平準化をすることにより、充実した行政サービスと持続可能な財政運営を行い、「縮充」を実現することで次世代に、より良い公共施設等を引き継いでいくこととしています。

■中村下会館の現状

中村下会館は、昭和53年に児童の健全育成のための児童館として開所しましたが、少子化の進行や学童保育の充実によって児童館を利用する児童が減少したことから、平成28年からは地域集会施設として、地域の皆さまの生涯学習や交流の施設としてご利用いただいていたいました。

しかしながら、建築後40年以上が経過し建物の老朽化が進んでいること、旧耐震基準で建築された建物で現在の耐震基準を満たしておらず耐震改修費用が2千万円以上に及ぶことなどから令和2年に策定した中井町公共施設長寿命化計画において、中村下会館は廃止する施設として位置付けました。

人口減少や少子高齢化の進行により公共施設の利用需要が変化していく中で、施設の「総量の適正化」、「中長期的なコストの管理」、「効果的・効率的な管理運営」を検討し、中村下会館の現状から、耐用年数の45年を経過する令和5年度末に閉館することとし、

令和5年3月に改定した中井町公共施設等総合管理計画においても、令和6年度中に廃止・解体することとしています。

これまでの中村下会館の利用状況ですが、絵画や書道、体操などのサークル活動を中心に月に10数回程度であり、利用状況のアンケート結果などから中村下会館が備える機能の代替施設として、農村環境改善センター、井ノ口公民館、境コミュニティセンター、未病センター・なかい健康づくりステーションなどでの活動が可能と考えられますので、令和6年度からは、利用中止として、代替施設をご利用いただきますよう案内をさせていただいているところです。

■地域懇談会「公共施設等総合管理計画と中村下会館」

公共施設等総合管理計画の考え方と耐震化されておらず、耐用年数に達する中村下会館について、町民の皆様にお知らせをするとともに、意見交換会を通して、情報共有を図るため2会場で地域懇談会を開催しました。

参加された方からは、代替施設となる農村環境改善センターの柔軟な利用要望、選挙事務等での身近な施設がなくなることの不安、跡地についての具体的な提案が欲しいなどのご意見がありました。

日時：3月22日（金） 午後7時～

場所：農村環境改善センター

参加者：6人

日時：3月23日（土） 午後1時～

場所：中村下会館

参加者：26人

■今後の対応について

現時点において、中村下会館跡地の活用方法は決まっていますが、これまでの利用状況において、新たな施設建設は考えていません。

また、同じ町民文化系施設となる農村環境改善センターですが、既に建設から40年以上が経過し、施設の老朽化やエレベーターや障がい者が利用できるトイレがないなど、バリアフリー対策も十分でなく、様々な課題を抱え、町民の皆様にご不便をおかけしている状況にあります。

こうした状況から、令和6年度から、新たに生涯学習施設建設事業に着手しています。

これからの中井町には、どのような施設が必要なのか町民の皆さん一人ひとりの声を集めるため、里都まちのなかい「わいがやサロン」も6月14日には、第1回目となる「キックオフ！」が始まります。

小学生からシニアの方まで、幅広い世代の方にご参加いただき、ご意見をいただきながら、生涯学習・地域交流拠点として、多くの人々が集い、学び、憩い、交流することで、にぎわいと地域への愛着を育む施設整備を目指しています。

そして、これまでの中村下会館の担ってきた役割については、この新たに建設する生涯学習施設に集約をしていきたいと思います。今の中井町に必要なのはどんな施設なのか、町民の皆様と一緒に考えてまいります。

そして、生涯学習施設が完成した後に、中村下会館の跡地利用について、町民の皆様と改めて検討を行っていききたいと思います。